

(公財)日本体操協会 令和4年度第2回評議員会議事録

1. 日 時 2023年3月 25 日(土) 14時00分 ～ 15時00分

2. 場 所 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE6F 604号室会場集合
およびリモート(zoom 使用)による併用会議
一堂に会するのと同等に意見表明ができることを確認した。
公開会議なので、リクエストいただいたメディアの方々もリモートにて視聴参加(3 社)

3. 出席者

<評議員>

出 席:19名 大島斎礼、岡村輝一、瀧澤康二、長谷川輝紀、坂上誠、鷹西美佳、林 直樹、
長澤稔子、田中和子、慶野峰晴、大橋英記、松井保憲、渡邊一郎、川上新一、
望月克己、山田正夫、原康之、岡部洋明、知念義雄

欠 席:2名 塚原千恵子、谷口裕代

<理事・監事>

出 席:6名 藤田直志(会長)、具志堅幸司(副会長)、竹内輝明(副会長)、
長谷川洋子(副会長)、山本宜史(専務理事)、岩瀬史子(常務理事)

監事:2名欠席 高橋史安(監事)、小河原慶太(監事)

<事務局>

出 席:3名 守永直人(事務局長)、渡邊 榮(アドバイザー)、野村直史(総務部長)

4. 資料の確認

資料 「2022 年度第2回評議員会資料」
「2023年度事業計画及び収支予算書」

報告事項

- 報告事項 1 2023 年度予算について(別添資料:事業計画及び収支予算書)
- 報告事項 2 2023-2024 年度 新組織について
- 報告事項 3 2023 年度 会議スケジュール

5. 権限審査

本協会定款第 24 条にもとづき評議員会を構成する評議員は21名、
本日は塚原千恵子さん、谷口裕代さんの2名が欠席、出席者数は 19名、
過半数は 11 名ですので本会議は定足数を満たしていることをご報告申し上げます。

6. 藤田会長ご挨拶

本日は2022年度第2回評議会にご参集いただき、誠にありがとうございます。

ようやくコロナ禍の制限が解除され、日常の生活が戻ってまいりました。4月より始まる国内の大会が順次展開しますが、コロナ以前の環境に戻しつつ大会を盛り上げていきたいと考えています。

今、社会の変革の中でスポーツ界は大きな転換期を迎えています。従来当然のように行っていたことが社会から厳しくチェックされ、公明正大な運営が求められるようになっていきます。

これからは社会のニーズに即した協会運営が求められていることを理解していかなければなりません。

日本体操協会は設立趣意書に「我が国における体操界を統括し、代表する団体として体操の振興及び普及奨励を図り、もって国民の心身の健全な発達に寄与することを目的とする。」という立派なミッションが謳われています。この文章は時代を超えて現在でもその思いを伝えていると思いますが、時代の変化にあった考え方が求められています。

そこでこの協会のミッションに対してこれからの中長期のビジョンを作っていきたいと思っております。

ビジョンというのは協会のミッションを達成するために必要な実践であります。このビジョンが今の時代に何を体操協会が実践しようとしている計画を具体的に示していくことが求められていると思います。漠然とした内容ではなく、具体的に明確に示さなければなりません。

これから日々の活動に対する審議や決済が協会として求められて行きますがその際に軸となる考え方が、協会の皆さん一人一人のベクトルが合っていなければいけないと思っております。そこでこれからの新体制について理事、執行役の皆さま、委員会や事務局とともに中期のビジョンを作りあげていこうと思っています。

今、体操協会の運営は厳しい状況でございます。2022年度の予算はマイナス1億円でスタート致しました。今後の2023年度についてもマイナス1億を上回る赤字予算の計上となっております。2023年度からは設営等の業者の方々に対しても競合入札を実施して、更には大会運営の費用の削減に努力をしていきます。

一方で大会の入場者数を増加させ収入の増加を目指すためには、大会を盛り上げる大会プロモーション委員会というものを設置し、現場の皆さんの声を反映させてより魅力的な大会にして観客を増やしていきたいと思っております。

スポンサー獲得も大きな問題です。現在トップスポンサーで1枠、オフィシャルスポンサーでも3枠の空きが出ております。私自身も日々企業を回り、スポンサー獲得に向けて順次努力をしておりますが、残念ながらまだ成果が出てきておりません。この枠の総額を合計すると約1億円ほどの未達になります。

選手の活躍を支えるためにも協会の基盤をしっかりと強化して、全力を尽くして参ります。

皆さまにはご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

7. 議長選出

定款第4章第16条の定めにより、評議員会議長は、評議員の中から選出すると定められており、瀧澤康二評議員が議長に選出された。

8. 議事録署名人

林直樹評議員と慶野峰晴評議員の2名を指名し、議場に諮り、全員異議なく承認された。

9. 審議事項

報告事項1 2023 年度予算について(別添資料:事業計画及び収支予算書)

議長の指名により、守永事務局長は説明を行った。

<2023 年度予算の特徴>

- ・2023 年度は当期経常増減額が▲167.8 百万となった。
- ・2022 年度目標として、マーケティング部による営業活動を活性化し、正味財産の減少を食い止める施策を行う必要があったが、2023 年度予算においても、収益 87.3 百万の減額、費用 23.5 百万の減額をしているにも関わらず、マイナス 167.8 百万の減額という予算となっている。
- ・予算マイナスの大きな原因はスポンサー、補助金、観客の減少などによる収入減。物価の上昇、ガバナンス上の業務の増加、不採算事業の増加があげられる。
- ・第一優先事項として、事業の見直し及び収入源の確立が必要と考える。
ただし、強化本部予算については 4-6 月の事業にとどめ、本格的な見直しは各助成金の決定を受けてからが望ましいと考える。(※後述参照)

<管理費の増加>

- ・2022 年度、将来的な事務局体制強化を見据えての、大幅な人員増加を行い、各業務、発注の改善、外注の内製化、効率化を行い経費削減に努めるとともに、営業活動の活発化による収益増加体制を目指す予定である

<登録料の伸び悩み>

- ・本来、登録料収入は公益財団の根幹的な運用財源であり、少なくとも協会運営に必要な固定費(管理費等)を維持するのが適当である。
現行は管理費との乖離は大きく他の財源(協賛金等)で補っている状態であるが、2023 年度は補えない金額となっている。※監査指摘事項

<スポンサー収入の維持・拡大>

- ・スポンサー収入は東京オリンピックの閉幕及びコロナの影響により、2022 年度は 60 百万円の減額予算となったが、2023 年度も 2022 年度対比で 33.6 百万の減額予算となった。
- ・2023 年度もスポンサー収入を大きな収入源としている現状を認識し、現行スポンサーとの良好な関係を保ちつつ、新たなスポンサーの獲得と増額を目指す。

<JOC 助成金減額の可能性>

- ・強化活動にかかわる助成金の金額を、本予算案では 332.2 百万円と見積り計上した。
- ・見積根拠:各強化本部予算額×助成比率(※1)
※1 選手強化事業:助成金対象経費×2/3(原則)

- ・その他事業:助成金対象経費×10/10
- ・2023 年度、感染対策事業(助成比率:10/10)の助成金枠は廃止となっている。

<課題解決型アスリート育成パスウェイ構築支援プログラムについて>

- ・2023 年度、JTS 助成金の募集はなくなり、新規に、課題解決型アスリート育成パスウェイ構築支援プログラム募集が開始された。
 - ・新体操とトランポリン女子で申請予定である。
- ※JOC 助成金及び新規助成金金額の内定後、強化本部との予算再策定の必要があると考える。

報告事項2 2023－2024 年度 新組織について

議長の指名により、藤田会長は説明を行った。

<新組織の役割>

評議員会 ➡ 現行通り理事会監視役

理事会 ➡ 協会運営のチェック機能

業務執行役会議 ➡ 協会運営の執行を決定し、各業務執行役が責任を持って実行

各委員会、強化本部 ➡ 現場での実施機能として活動

事務局 ➡ 各委員会、強化本部の実行をサポート、協会運営の中心となる

<廃止、統合の委員会>

事業委員会 ⇒ 強化・運営部へ（事務局）事務局内強化・運営部内に業務移行

国際委員会 ⇒ 国際・開発・広報部へ（事務局）事務局内国際・開発・広報部内に業務移行

広報委員会 ⇒ 国際・開発・広報部へ（事務局）事務局内に業務移行

（当面、旧委員会で業務整理し運用）⇒事務局内国際・開発・広報部へ移行

<新設の委員会>

大会プロモーション委員会

大会への観客動員・ファン獲得の推進を図る部署として新設

（強化・運営部と競技担当者、マーケティング部、大会運営の担当者と連携して企画、計画、実施）

①これまでの事業委員会は形を少し変えて、大会プロモーション委員会に移行

②大会時の観客動員・ファン拡大の対策担当部署を新設

報告事項2－2 2023－2024 年度 新組織について(理事・監事)

		役職名	氏 名	性別	2023年6/25 年齢	所属先	出身学校
1	外部	会長 代表理事	藤田 直志	男	66	日本航空株式会社	国際基督大
2		新 副会長	佐久間裕司	男	63	東京工科大学	日体大
3		副会長	横爪みずず	女	59	日本女子体育大学	日女体大
4		新 副会長	鹿島 文博	男	42	大東文化大学	順天堂大
5	外部	新 専務理事	西村 賢二	男	62	株式会社立飛ホールディングス	早稲田大
6	外部	理事	萩原 智子	女	43	株式会社スポーツパックス	山梨学院大
7	外部	理事	川人亜矢子	女	42	富士通株式会社	北海学園大
8	外部	新 理事	佐々木庸子	女	46	Abilita(アビリタ)主宰 /ワタナベエンター テイメントカレッジ(渡辺高等学院) 講師	国立音楽大
9		新 理事	内村 航平	男	34	株式会社スポーツコンサルティングジャ パン	日体大
10		理事	田中 理恵	女	36	田中体操クラブ	日体大
11	外部	新 理事	中村 真理	女	60	公財)日本ホッケー協会	天理大
12		新 理事	武藤 真也	男	44	TSRスポーツクラブ代表	学習院大

1		監事	高橋史安	男	69	日本大学	日大
2		監事	小河原慶太	男	56	東海大学	東海大

報告事項2-3 2023-2024 年度 新組織について(業務執行役)

	担当	氏 名	年齢 (4/1)	所属先	出身学校
1	五輪強化統括(体操・新体操・TR)	山本 宜史	58	社会福祉法人 博光福祉会	大体大
2	広報・登録・体操普及担当	遠藤 幸一	61	日本大学	日 大
3	競技会(審判・大会)推進担当	後藤 洋一	60	明治大他	日体大
4	競技普及推進担当	水鳥 寿思	42	株式会社水鳥	日体大
5	新体操推進担当	長谷川洋子	71	(公財)日本体操協会	東女体大
6	国際・地域担当	竹内 輝明	71	(公財)日本体操協会	東海大学
7	総務・100周年担当	高橋 孝徳	54	東京国際大	千葉商科大
8	広報担当	岩瀬 史子	56	株)ブラミン	跡見学園女
9	コーチ育成担当	明名 亜希子	41	健新幼稚園	日体大
10	審判育成担当	近藤 昌夫	54	県立水取沢高校	筑波大
11	アスリート担当	米田 功	45	徳洲会体操クラブ	順天堂大

<選出理由>

役員改選に伴う大幅なメンバー交代により協会運営が滞ることなく実施出来ることを念頭に、現役員で交代する方、運営業務に精通している方、また大会運営時のファン獲得など
 これからの体操協会のあり方など発想と行動力のある方々、また若手登用も念頭において
 選出した。また会長、副会長、専務理事とも連携を取り、協会運営の促進出来る方々を推挙した。

報告事項2-4 2023-2024 年度 新組織について(委員会委員長)

新設	大会プロモーション委員会 委員長	後藤 洋一	60	明治大他	日体大
	地域委員会 委員長	田野辺 満	53	福井県立鯖江高等学校	順天堂大
	審判委員会 委員長	近藤 昌夫	54	県立水取沢高校	筑波大
	総務委員会 委員長	高橋 孝徳	54	東京国際大	千葉商科大
	コーチ育成委員会 委員長	明名 亜希子	41	健新幼稚園	日体大
	一般体操委員会 委員長	伊藤 由美子	45	日本体育大学	日体大
	トランポリン委員会 委員長	福井 卓也	53	金沢学院大学	日体大
	アクロ体操委員会 委員長	野呂 克己	55	日本芸術文化高等学校	郡山健康科学専門学校
	男子新体操委員会 委員長	山田小太郎	46	国士館大学	国士館大
	バドミントン委員会 委員長	荒本 英世	37	一般社団法人全日本バドミントン連盟代表 バドミントン教室「MISSION HIROSHIMA」代表	
	アスリート委員会 委員長	米田 功	45	徳洲会体操クラブ	順天堂大
	情報医科学アンチ・ドーピング委員会	立花 泰則	59	〈公財〉日本体操協会	日体大
	安全環境委員会 委員長	川人 亜矢子	42	富士通株式会社	北海学園大
	器械器具委員会 委員長	島田 利夫	59	安中総合高校	日大
	100周年記念事業委員会 委員長	竹内 輝明	71	〈公財〉日本体操協会	東海大

<選出理由>

原則、役員改選に伴う協会運営が滞らないよう継続しての体制づくりとした。

協会運営改変に伴い、役員数減、業務執行制度に伴う協会運営の活性化と若い委員の活躍の場を設けることを念頭に、事務局中心体制に移行する改変により、若干の委員長を変更を実施した。

また会長、副会長、専務理事、業務執行役とも連携を取り、協会運営の促進を出来る方々を推挙した。

(質疑応答)

山田：大会プロモーション委員会は何名くらいの構成？財政が絡んでるので重要。

守永：各委員会から1名ずつ出している。

山田：業務執行役としての後藤氏の役割は？

守永：後藤氏は大会担当執行役員兼大会プロモーション委員長という形になります。

山田：国際・地域担当に竹内さんが入っているが？

守永：現在あるブロック・地域の担当役員です。地域委員長は昨年に続き田野辺氏が担当する。

大島：研究部はどこに入るのか？

守永：情報医科学アンチ・ドーピング委員会に入っており、従来から変更ありません。

報告事項3 2023年度 会議スケジュール

議長の指名により、守永事務局長は説明を行った。

開催月	業務執行役員会議			理事会【7月以降新理事会】			その他諸会議・行事			備考
		日	開始時間		日	開始時間	会議名	日	開始時間	
4月	第1回	7日(金)	17:00	第1回	12日(水)	17:00				4月12日は常務理事会
5月	第2回	28日(金)	17:00	第2回	9日(火)	17:00	第1回 地域・ブロック合同会議			5月9日は常務理事会
6月	第3回	16日(金)	17:00	第3回	6日(火)	17:00	第1回 評議員会	25日(日)	14:00	6月6日は理事会(旧体制最終)
7月	第4回	7日(金)	17:00	第4回	21日(金)	17:00				新体制での理事会
8月	第5回	10日(木)	17:00							
9月	第6回	8日(金)	17:00	第5回	15日(金)	17:00				
10月	第7回	11日(水)	17:00							
11月	第8回	10日(金)	17:00	第6回	17日(金)	17:00	第2回 地域・ブロック合同会議			
12月	第9回	8日(金)	17:00							
翌1月	第10回	12日(金)	17:00	第7回	19日(金)	17:00	新春記者懇談会	19日(金)	18:00	
翌2月	第11回	2日(金)	17:00				全国代表者会議/協会三貴表形式/コンプライアンス研修会	11日(日)	10:00	
翌3月	第12回	1日(金)	17:00	第8回	8日(金)	17:00	第2回 評議員会	24日(日)	14:00	1年間の感謝の会を毎年3月4日予定

(質疑応答)

大島:定款の変更については総務大臣の認可が必要ですが、手続きはどうなっていますか。

守永:日本体操協会の所管官庁が内閣府となっております。

現在、内閣府と相談しまして6月25日の評議員会終了後に新しい定款の施行となります。

大島:定款変更は評議員の決議が必要。今年1月の臨時評議員会では定款変更の議題として載っていないのではないか。提案としていただいているが、議題に載っていないのであれば議決されていないという認識でいる。

守永:1月臨時評議員会の議事録を確認いたします。

議事録ですと「異議なし」となっておりますが、あいまいなところがあると思われます。

もしよろしければこの場で再度確認させて頂ければと思います。

議長:ただいまの問題に対しまして重要な議題でございますので、ここで改めて定款の改定について、ご提案の内容について確認をしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

それでは、前回の提案について意義のある方は挙手をお願いします。

無ければ、前回の議案を承認させていただきます。⇒＜異議なし＞

大島:組織改編について必要あるものは差し支えない範囲でHPに早めに出してほしい。

林:今回で新組織体制が明確にされたので、次は組織改編の大きな柱となる業務執行役・委員会の目標を明確にして早期に共有化をおこない新組織としてビジョンをもって動けるようになることが重要である。引き続き進めていただきたい。

議長 以上で予定している議事は全て終了いたしました。

その他、事務局としては特段ございません。皆様から何かございますでしょうか。

その他、特に無いようですので、

これをもちまして2022年度「第2回定時評議員会」を終了いたします。

議長は、すべての議案の終了を確認し、15時10分閉会を宣言した。

令和 5 年 3 月 25 日

議長 瀧澤 康二

議事録署名人 林 直樹

議事録署名人 慶野 峰晴